

■ぐんま経済新聞(2014年2月20日付)

まちづくりシンポ開く オリエンタル群馬 本社開設を記念し

まちづくりシンポ開く

オリエンタル群馬 本社開設を記念し

施設管理事業や地域活性化事業などを手掛けるオリエンタル群馬(前橋市千代田町、中壘智親社長)は、前橋市中心街に完成した学生向けシェアハウス「シェアフラット・馬場川」の1階に本社を開設した。これを記念し、6日にまちづくりシンポジウムを同所で開いた。同社は昨年設立以来、県立敷島公園の管理運営や自主事業、アーツ前橋の館外事業の地域アートプロジェクトなどを通じて前橋のまちづくりに関わってきた。今回「シェアフラット・馬場川」に本社を開設したことから「これからのまちづくりを考える」未来を地域とともに」と題したシンポジウムを開催した。開会に当たり山本龍前橋市長のビデオメッセージが放映された。山本市長は「中心街を交流の場にしていきたい。アーツ前橋にかかわる人たちの手でシャッター街のシャッターがどんどん上がり始めている。シンポジウムに集まった人たちにもぜひアイデアを出していただき、かつそのアイデアを実行する力もお借りしたい」と語った。

シンポジウムのコーディネーターは高崎経済大地域政策学部の大宮登教授、パネリストはアーツ前橋の住友文彦館長、前橋中心商店街協同組合の大橋慶人副理事長、「まえばしCITYエフエム」プロデューサーで前橋〇〇部発起人の岡正巳氏、オリエンタル群馬の中壘社長が務めた。

パネリストは「アーツと街づくり」改

装美術館」「空店舗の再生」「街中博物館」「前橋アクシオン」「前橋〇〇部部室」「つながり」などのキーワードで、それぞれの立場から、まちづくりのビジョンや枠組みなどについて議論した。

会場にはまちづくりにかかわる関係者を中心に40人以上が集まり、関心の高さをうかがわれた。また、シンポジウムの模様は「まえばしCITYエフエム」で生中継されたほか、JR前橋駅、前橋プラザ元気21など6か所のサテライト会場でも同時配信された。



シェアフラット・馬場川内で行った

ぐんま経済新聞 ホームページ → <http://www.gunkei.com>